

アレクサンドル・カントロフ

ピアノ・リサイタル



©Sasha Gusov

# Alexandre KANTOROW

2026年 **11/29** (日) 14時 サントリーホール

Sunday, November 29, 2026 at 2 p.m. Suntory Hall, Tokyo

リスト: J.S.バッハのカンタータ「泣き、嘆き、悲しみ、おののき」と「口短調ミサ」による変奏曲 S180

Liszt: Variations on Bach's Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen and Crucifixus from the Mass S180

メトネル: ピアノ・ソナタ第1番 ヘ短調 op. 5

Medtner: Piano Sonata No. 1 in F minor op. 5

ショパン: 前奏曲 嬰ハ短調 op. 45

Chopin: Prelude in C-sharp minor op. 45

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第32番 ハ短調 op. 111

Beethoven: Piano Sonata No. 32 in C minor op. 111

ほか

S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000

主催: KAJIMOTO

協力: ナクソス・ジャパン株式会社

Piano Recital 2026



# 振り向けば、なんと凄いピアノ！ —— 音楽をダイレクトに届けるカントロフの新しい一歩

アレクサンドル・カントロフの演奏は、ピアノの音を飛び越え、先にその楽曲の“音楽”が聴こえてくる。

これは彼の実演を聴いた人間の、実に多くが異口同音に語る感想だ。もちろん、まずはピアノの鍵盤に触れて音を出さなければ、どんな演奏も始まらないのであるから、そんなことはあり得ない・・・という人もいるかもしれない。しかしカントロフの場合は—— そう錯覚させると言ってもいいが—— 実際そうなるのだ。彼のタッチは実にくっきりと美しく、多様多彩で、同時に強靱なものであり、どんな難曲でも易々と弾いてのける空恐ろしいほどの技術をもっているが、それを聴いた者が感知するのは、対象である音楽の素晴らしさ、深さ、豊かさを味わってから後のことである。「いや、そういえば彼のピアノは凄い！」。

それはあまりにも豊かな想像力ゆえの現象であろうか？ともかく、カントロフはそうした最高級の音楽的天賦の才をもって私たちの前に現れた。この数年の来日公演で、それが顕著であったのは、特に彼が集中して取り組んできたブラームスの若き日の作品や、リストの曲であったろう。また記憶にも新しい、マケラ指揮ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団とのブラームス「ピアノ協奏曲第1番」の快演。

そのカントロフがついにベートーヴェンを弾く。それもこの作曲家が最晩年に辿り着いた、闘争と浄化が対になった最後のピアノ・ソナタである。カントロフの天才は一足飛びにこの類稀なる楽曲の真髄を取り出してきてくれるのか、それとも私たちが未だ知らない面を教えてくれるのか？

ベートーヴェンと組み合わせられる曲は、これまた滅多にない、ロシアの抒情詩人メトネルのソナタやショパンの小品であり、これがどのような流れと響きをコンサートホールにもたらすのだろうか？様々な興味の尽きない、今回のコンサートだ。

(A)

## アレクサンドル・カントロフ(ピアノ) Alexandre Kantorow, *Piano*

22歳で挑んだ2019年のチャイコフスキー国際コンクールで、フランスのピアニストとして初めて優勝。ゲルギエフ指揮マリインスキー劇場管、パッパーノ指揮ベルリン州立管、マケラ指揮コンサートヘボウ管、ほかにもバリ管、フィルハーモニア管、ミュンヘン・フィルなどと共演を重ねる。2023/24年シーズンにはベルリン・フィル(ソビエフ指揮)にデビューを果たした。アムステルダムのコンサートヘボウ、フィラルモニー・ド・パリ、ベルリン・コンツェルトハウス、カーネギーホールをはじめとする著名ホールで演奏し、ヴェルビエ、ラヴィニア、BBCプロムスなどの国際音楽祭に出演。室内楽にも精力的で、2022年からニーム国際音楽祭のアーティスト・ディレクターを務めている。

数々の録音はディアパゾン・ドールやショク賞などを獲得し、2019年にはフランス批評家協会賞の年間最優秀新人音楽家部門を受賞。2020年には、サン＝サーンスの協奏曲アルバムでヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック・クラシックの年間最優秀録音部門と年間最優秀器楽ソリスト部門を同時受賞するという快挙を成し遂げた。

2024年のギルモア・アーティスト賞を受賞。2025年のグラモフォン・クラシック音楽賞でピアノ部門賞を受賞。パリ・オリンピックの開会式でも演奏した。



©Sasha Gusov



ALEXANDRE KANTOROW  
BRAHMS · SCHUBERT

### 世界が称賛! カントロフの名演を録音で

**●BISSA2660 最新盤**  
ブラームス:ピアノ・ソナタ第1番  
シューベルト:さすらい人幻想曲  
シューベルト/リスト:さすらい人 他 (録音:2023年)

**●BISSA2380**  
ブラームス:ピアノ・ソナタ第2番、ラプソディ第1番  
バルトーク:ラプソディ  
リスト:ハンガリー狂詩曲第11番 (録音:2019年、2020年)

**●BISSA2600**  
ブラームス:ピアノ・ソナタ第3番  
左手のための「シャコンヌ」  
バラード集 作品10 (録音:2021年)

**●BISSA2100**  
リスト:ピアノ協奏曲第1番、第2番  
呪い〜ピアノと管弦楽のための協奏曲 (録音:2014年)

**●BISSA2150**  
ラフマニノフ:ピアノ・ソナタ第1番  
バラキレフ:イスラメイ  
ストラヴィンスキー(アゴ스티編):火の鳥より  
チャイコフスキー:ロシア風スケルツォ 他 (録音:2016年)

**●BISSA2400**  
サン＝サーンス:ピアノ協奏曲第1番&第2番 他  
(録音:2018年～2021年)

**●BISSA2300**  
サン＝サーンス:ピアノ協奏曲第3番、第4番、第5番  
(録音:2016年～2018年)

※すべて輸入盤・オープン価格です。輸入・販売元:ナクソス・ジャパン

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

**www.kajimotoeplus.com**

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00～18:00)  
ホームページからもお申込みいただけます。

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto\_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 331-576)  
e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

サントリーホールチケットセンター  
0570-55-0017 (オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・  
イープラス



一般発売:  
7/11(土)10:00～

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 7/2(木)12:00～5(日)18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00～18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のご設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。  
●ご来場の皆様に安心して聴きただけですよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。